

『14年を振り返って……』

～はなみずきの開所時から、在籍している二人の職員の思い出～



はなみずきに20歳で入社し、ただ今35歳。あっという間の14年間でした。私は専門学校卒業し、はなみずきに介護職員として入社。毎日が新しいことばかりで、同僚の職員においていかれないよう、必死でした。まず、はじめに介護業務の信頼と安心を印象付ける資格として介護福祉士を目指しました。周りではやさしさの中にも厳しい先輩方の叱咤激励と人生の大先輩である入居者の方との触れ合いで、介護の仕事のいろいろを吸収して参りました。夢中で過ごした日々は楽しいことばかりではなく、同僚や自分の目標としていた職員の退職、後輩職員の退職や入居者の退所など、多くの別れがありました。自分の気持ちが折れそうになることも多々ありましたが、その時一緒に働いていた仲間や、上司の力添えをいただき、今を迎えられていると思います。そんな中、仕事はきっちり行い、プライベートでは大いに弾け楽しむことを知りました。現在は介護職員から副主任、介護主任を任せられ相談員という立場になりました。日々新たな事が起きる介護現場での経験を活かした相談員像を築いていきたいと思っています。

私事ですが、私の生活環境も大きく変わりました。1人から2人、2人から3人、今は5人家族となり、14年前では想像もしていませんでした。こんな長い月日ははなみずきでやってこれたのも仕事を通して触れ合えた多くの人に支えられているのだと感じています。私もたくさんの人の支えとなれるよう頑張ります。

(特別養護老人ホーム はなみずき 相談員 瀬野誠)



はなみずきに異動になってから早14年……、特別養護老人ホーム介護職員→デイサービス介護職員→デイサービス相談員→特養ケアマネを経てH18年4月より現在の在宅介護支援センターのケアマネをさせて頂いています。清明会に入社してから色々な経験を積み、資格を取り(大型免許も取り)充実した生活を送らせていただき、気づいた時にはもう「アラフォー」世代に突入…。大変なことも多いですが、この仕事が好きなので続けられているのだと思います。

ご利用者様やご家族様から見ると若輩者なので、まだまだ勉強は必要と思い日々頑張っています。H25年10月より「管理者」という立場にもなったため、更に精進してまいります。その前にプライベートも充実させないと…。色々な方にお気遣いいただき、ご心配もかけているので…頑張らないと…。良いご報告ができるまで、長生きしてくださいね(´▽`)／

(在宅介護支援センターはなみずき 管理者 石川敦子)



花ことば

元気を応援します 社会福祉法人 清明会
 発行：特別養護老人ホームはなみずき
 ショートステイはなみずき
 デイサービスセンターはなみずき
 在宅介護支援センターはなみずき
 カルパステーションはなみずき
 ケアハウス りんどう
 ケアハウス ガーデンカルミア
 八千代市高津・緑が丘地域包括支援センター
 広報担当：宮谷 / 廣瀬 電話 047-480-6060
 〒276-0004 千葉県八千代市島田台 998-4
 構成デザイン・印刷：(株)エイズブット

ホームページ：http://seimeikai-hanamizuki.com/ Eメール：hana-seimeikai@luck.ocn.ne.jp

ご挨拶

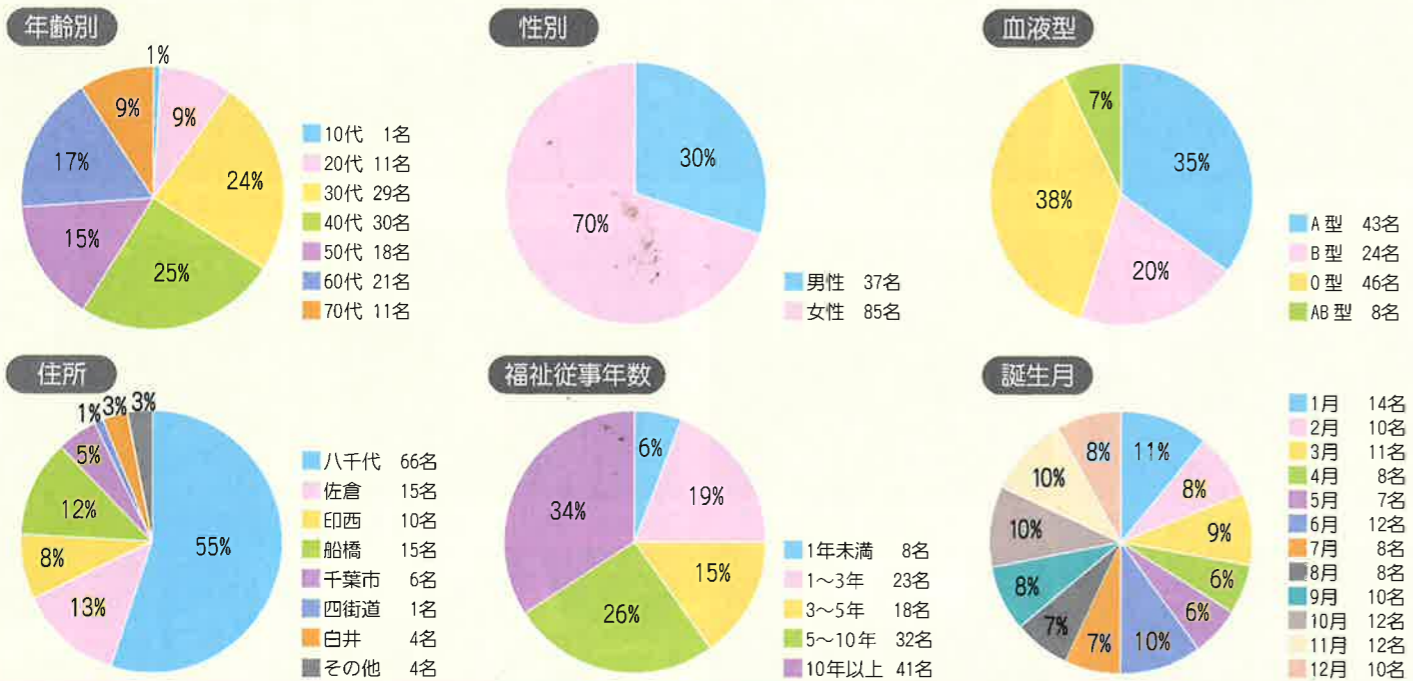
明けましておめでとうございます。皆様、お健やかにお正月をお迎えのことと存じます。昨年異常気象、自然災害で大変な年でした。今年は午年なのですべてがうまくいく年であると願います。ご利用者様には毎日笑顔で接し、皆様から信頼を得られる施設を目指していきたいと思っています。おかげさまでユニット棟は軌道に乗り、職員一同頑張っております。末筆ながら皆様のご健勝、ご活躍を心よりお祈り申し上げます。

理事長 寺田 みき



グラフで発見! 清明会職員の統計

平成25年12月現在



皆様、明けましておめでとうございます。昨年一年間も沢山の行事を行って来ました。広報誌を見て振り返ると…今年は何の行事をして、利用者の方々を楽しんでいたか、ウキウキしてきます。又、施設内研修も充実したものを行って参りました。ユニット増所から早一年益々成長しつつある、はなみずき&りんどう&カルミアであります。

今回の広報誌には職員のちょっと変わった統計を載せてみました。職員の年齢層や血液型がのっており、施設に勤めている職員のちょっとした分析をしてみたいか、今年もみなさんと楽しく過ごして、広報誌でご報告していきます。

表紙写真、『なのはな』の花言葉

今号は、ユニットのグループ名の一つ『なのはな』の花言葉をご紹介します。なのはなは非常に塩の土壌に強いとのこと、津波によって塩がかぶってしまった塩害土壌に菜の花を植えるプロジェクトが東北では開始されたそうです。花言葉は「快活」「活発」「元気いっぱい」「快活な愛」「小さな幸せ」など。元気が出そうな花言葉が多いですね。菜の花は寒い時期にずーっと咲いています。早い時は11月頃から冬中咲いて、春の遅くに種が出来ると枯れてしまいます。寒い時期に黄色い花が咲いているので「元気いっぱい」という言葉がぴったりです。そしてご存じ千葉県の県花です。



今日も元気。デイサービスの皆さんの笑顔です。

特養・ケアハウス (りんどう ガーデンカルミア) ・デイサービスのあの時、その時。1年ってあっという間でした。

月ごとに見る、主な出来事

2013. 1 月



初詣



福笑い (^o^)/



餅つき



お茶会



テーブルゲーム

2013. 2 月



浅草巡り



外食



節分



ボールゲーム



バレンタインデー



モグラ叩き

2013. 3 月



落語の寄席



早咲き桜を目の前に



美味しそう、桜餅



ひなまつり



フラワーアレンジ



春の行事食

2013. 4 月



千鳥ヶ淵花見



生演奏を披露



大正琴演奏



ドイツ村の芝桜



佐倉の名物・風車
風車を取巻くチューリップ



2013. 5 月



赤上げて、白上げて



歌手のボランティア



バラ園散歩



その場で揚げたて天ぷら



春の外食



夏に向かい緑のカーテンを準備

2013. 6 月



水郷あやめまつり



学生コーラス



ウウツ〜、嬉しいね



緑のカーテンにゴーヤ実る



ナイス、ボールイン!



手作り和菓子

2013. 7 月



フラダンス



玄関前に七夕飾り



拍手喝采



お寿司の外食



スイカを味わう



スイカを味わう

2013. 8 月



四重奏演奏



誕生日会



東京臨海ドライブ



スイカを味わう

納涼祭

今年もいっぱい思い出づくりをしましょう!!

2013. 9 月



敬老会

2013. 10 月



お茶点て

2013. 11 月



りんどう合唱隊

2013. 12 月



昭和記念公園



スカイツリー見上げて



運動会



ボランティアの踊り



子供達の聖歌



幼稚園児の来苑



高校生の太鼓披露



職員の仮装



文化祭



介護は日々新たな連続です。
だから勉強。勉強はいつやる？
「今でしょう！」

はなみずきでは、現場対応を適切に、そして皆がレベルアップして行くための研修を密に行なっています。介護の技術は日進月歩。しかし介護は技術だけでなく心が大切です。他所のいいところを学び、情報を得ることで務めてまいります。

7月16日に外部（パナソニック エイジフリー ショップス）より講師を招き、「クレーム対応」の施設内研修を行いました。



各部署から27名の参加がありました。内容は「お客様からのご指摘対応」です。講義内容の一部を紹介させていただきます。クレームが発生した時には-----

- ① 初期対応を迅速かつ丁寧に行う。
- ② どこに問題があったのか原因を確認する。
- ③ 確認した内容に基づき、対応方法を検討する。
- ④ 相手に対して回答・報告を行う。
- ⑤ 再発防止に努めると共に、情報を共有していく。

一番大切な事は「相手の話を遮らず最後まできちんと聞き、お客様に共感する」との事でした。その他にも控えるべき言動や、基本的な対応方法などを学びました。学んだことを実践し、今後多くさんの笑顔が見られるよう努めていきます。



平成25年度主な施設外研修状況一覧表

研修名	出席者数
「施設介護支援専門員」現任研修	1名
「施設に活かすプレゼンテーション技術」研修	1名
第60回研修「困難ケースの対応ポイント」	1名
平成24年度第1回ユニットケア部会研修会	2名
認知症介護セミナー	1名
「高齢者虐待防止対策」研修	2名
平成24年度介護認定調査員現任研修	1名
神経難病研修会	1名
不在者投票事務に関する打合せ	1名
平成24年度第3回研修会（県食他川りの現場から）	1名
「対人援助を学び、実践することの再認識」講義	2名
「地域包括・在宅介護支援センター協会研修会」	1名
「地域包括ケア会議等活動支援事業第2回中央勉強会」	1名
ホームヘルパー全県会員研修会	1名
認知症&レクリエーションセンター	1名
平成25年度新規採用職員合同研修会	3名
介護リーダースキルアップ研修	2名
給食施設管理者・従事者研修会	1名
平成25年度ユニットケア研修	2名
高齢者福祉施設のための口遊ケアが이드ブックの活用に関する説明会	1名
千葉県露入福祉施設長事務担当者研修会	5名
災害時（対：在宅難病療養者）BCP策定研修	1名
主任介護支援専門員ネットワークで実施するモデル研修	1名
給食施設栄養士研修会	1名
介護職のための病気と薬の基礎講座	1名
医療連携と介護保険についての情報交換	3名
第70回全国老人福祉施設大会	4名
第18回千葉県ホームヘルパー大会	1名
「ホームケア」が知っておきたい薬の知識・専門編」	1名
認知症高齢者の自立支援とコミュニケーション	1名
主任介護支援専門員アローチャートの研修	1名
平成25年度介護認定調査員現任研修	2名
千葉県高齢者福祉研究大会	4名

8月23日 接遇研修

（株）「ツクイ」の山郷様と齋藤様にきていただき「接遇コミュニケーション研修」を内部の職員30名と他施設から10名参加して頂き合同で行いました。介護での実体験や日常生活での実体験など誰しも体験するような事から接遇のポイントを学び、とても分かりやすく充実した研修でした。グループワークも行い、他施設の対応方法などさまざまな件で比較することができ考えの幅が広がりました。すぐに学んだ事を実践に移しています。



10月1日 嚥下研修

（株）大塚製薬工場千葉支店栄養情報担当者 小豆畑氏を講師にお招きして、『嚥下』について学びました。人は1日に約600回の飲み込む動作をしています。その内訳は、3度の食事で200回、目覚めている間に350回、寝ている間に50回程度とのこと。夜寝ている間に気付かないまま誤嚥する可能性があるのです。肺炎になる原因の5分の1が誤嚥に因ること…等々。データと併せて、嚥下中に体内で起こっている反射をわかりやすい映像でご紹介いただきました。食事を味わうときに何気なく行っている動作ですが、お話を伺うほどに『嚥下』が私たちの生活にどれほど重要なものであるかが伝わってきました。入居者の皆様に美味しく安全に食べ続けていただくために、今回の研修を活かしていきたいと思ひます！



私の思い出



入居時のわたし

16年前の5月、寺田みき（現理事長）さんより「これからは子供の時代だよ、一緒に生きていこうよ!!」と声をかけて頂き10年計画でガーデンカルミアに入居しました。「あつという間」の16年が過ぎました。カルミアの暮らしで一番嬉しいのは安心して生活できるということです。自由に何でも出来る、外出して「ただいま」と帰れば「おかえりなさい」と言われ、食事もお風呂も用意されている、これ以上の生活はないと思います。一人であれば、なかなか出来ないことをしてもらっています。行事ごとでは初詣や誕生会、お花見の帰りに成田空港に迷い込んだり、施設長の声かけで突然九十九里に一泊したり。また、八千代高校の太鼓演奏のすごさに感動したりボランティアの方々に感謝しています。カルミアは本当に行事が多いわね。（笑）

入居当時カルミア前の桜の木は背丈ほどだったのに、今では4階に届く大きさになりました。いつまでお世話になるかわかりませんが、今まで通り楽しく安心して生活させて頂き、今は3代目の施設長にお世話になっております。ありがとうございます。

（ガーデンカルミア入居者 松田容子）

粟又の滝にて



嫁、孫と屋形船